

授業科目	応用日本語				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	神崎 明坤										
授業概要	書籍、新聞、雑誌を読んだり、語ったりすることを通して、日本語の四技能（読む、書く、話す、聞く）を磨き、また、論理的思考をも向上させる。										
授業形態	講義・演習			授業方法							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・上級レベルの日本語の四技能を身につける。そして日本語での各授業の理解力を高める。 ・日本語で論理的に考える力を身に着ける。 <p>習得した日本語を使って、基本的な読む、書く、聞く、話すことができる。</p>										
理想的レベル	<p>習得した日本語を使って、少し高度な読む、書く、聞く、話すことができる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験	30%										
小テスト	25%										
レポート	25%										
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他	20%										
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	T012004J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
予習										1	
授業計画											
第1回	オリエンテーション										
第2回	日本語の書籍・新聞を読む。 日本自然環境、位置、国土、気候について										
第3回	日本語の書籍・新聞を読む。 日本の主な島本州、北海道等について										
第4回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本の歴史原始・古代について										

第5回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本の歴史縄文時代、弥生時代、古墳時代
第6回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本歴史奈良時代、平安時代
第7回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本の鎌倉時代、室町時代
第8回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本の安土時代、江戸時代、明治時代
第9回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本大正、昭和時代、平成時代
第10回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本文化の特徴（重層性、均一性、現実的）
第11回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本人の自然観について
第12回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本人の宗教心、勤労意識について
第13回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本人の美意識、娯楽観について
第14回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本人の集団主義、義理人情について
第15回	纏めと試験
テキスト	適宜プリントを配ります。
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	日本語の辞書。
課題に対するフィードバックの方法	小テスト、発表、レポートや定期試験等を実施します。小テストや発表評価は採点后、返却します。 毎回真面目に授業に参加すれば、無理なく日本語をマスターすることができるので、頑張ってください。 15回目の授業中に定期試験を実施します。
学生へのメッセージ	一定レベルの日本語語彙、文法知識、および読解・聴解能力。

ジ・コメ
ント

毎日、少しでも日本語の文章を読むようにしてください。音読もしてください。